

	①基本目標及び数値目標 (KPI)	②計画期間中に取り込む 施策及び重要業績評価指 標(KPI)	③令和6年度に実施予 定の特徴ある取り組み	③- (2)令和5年度の課題に 対する改善方策	④令和6年度の取り組みにより、 KPI達成に向けてどのような効果が あるか	⑤令和6年度の目標(到達点・ 活動指標)	⑥年度末実績 (実施した内容、目標に 対する実績値)	⑦目標達 成状況	⑧実績に対する評価(目標達成要因、未達成要因、次年度以降 に向けた課題)	⑨取組の方向性	⑩第3期総合戦 略実行計画(令 和7年度版)での 取組の有無	⑩第6次総合計画の施策との関連	⑪担当課
1	【まち】地域の活力を生み出す人 口確保・定着に向け魅力あるまち をつくる 【KPI】人口の社会増減:117人 (年平均:H27-H30)→ 現状数 の維持(年平均:R2-R6)	(1)良好な住環境の整備促 進 【KPI】20～40歳代の人口	「りっとう空き家バンク」を 活用した移住・定住の促進	空き家所有者に空き家バンクへ の登録を促すとともに、登録物 件については積極的に内覧等 マッチングの機会を増やす必要 がある。	市内における空き家の減少及び人口定 着	りっとう空き家バンクでのマッ チングによる成約数 1件	りっとう空き家バンクでのマ ッチングによる成約数 1件	達成	令和6年度は1件のマッチングが成約できたが、現在の物件登録件 数は1件と低調になっており、引き続き、りっとう空き家バンクの 周知と登録を促進する必要がある。	継続	○	空き家対策の推進	住宅課
2	【まち】地域の活力を生み出す人 口確保・定着に向け魅力あるまち をつくる 【KPI】人口の社会増減:117人 (年平均:H27-H30)→ 現状数 の維持(年平均:R2-R6)	(1)良好な住環境の整備促 進 【KPI】20～40歳代の人口	子育て・若年世帯空き家リ ノベーション補助事業の実 施	補助事業が活用できること等メ リットを周知しながら、空き家所 有者のバンク登録件数を増やす 必要がある。	市内における空き家の減少及び人口定 着	子育て・若年世帯空き家リノベ ーション補助事業の利用 1件	子育て・若手世帯空き家リ ノベーション補助事業の利 用 0件	未達成	空き家リノベーション補助事業の対象となる空き家バンク登録物件 が少ないことから、補助事業の利用に至らなかった。引き続き、 補助事業の周知と空き家バンク登録を促進する必要がある。	継続	○	空き家対策の推進	住宅課
3	【まち】地域の活力を生み出す人 口確保・定着に向け魅力あるまち をつくる 【KPI】人口の社会増減:117人 (年平均:H27-H30)→ 現状数 の維持(年平均:R2-R6)	(1)良好な住環境の整備促 進 【KPI】20～40歳代の人口	くりちゃんバス等の利便性 向上への取り組み(動態調 査の実施)	くりちゃんバスの利用状況を把握 すること、今後のダイヤ改正及びルート 変更等に活かし利便性向上に取り組む ことで人口定着に繋げる。	くりちゃんバスの利用状況等を把握す ること、今後のダイヤ改正及びルート 変更等に活かし利便性向上に取り組む ことで人口定着に繋げる。	年2回動態調査を実施	計画どおり、年2回の動態 調査を実施した。	達成	くりちゃんバスの利用状況を把握するため、次年度も引き続き動態 調査を実施していく必要があります。	継続		道路・交通の整備	土木交通課
4	【まち】地域の活力を生み出す人 口確保・定着に向け魅力あるまち をつくる 【KPI】人口の社会増減:117人 (年平均:H27-H30)→ 現状数 の維持(年平均:R2-R6)	(1)良好な住環境の整備促 進 【KPI】20～40歳代の人口	社会基盤となる道路ネット ワークの整備促進	残る用地取得を進め、目標とす る整備年次に完成できるように引 き続き推進に取り組んでいく。	道路整備により更なるネットワークを 構築することにより、新たな企業進出 による雇用の創出や、良好な住環境が 整備されることに寄与し、人口の定着 につながる。	令和6年度時点までに占める事業 費割合(進捗率) 85.74%	令和6年度時点までに占 める事業費割合(進捗率) 81.49%	未達成	工事が一部遅れ繰越となったことから、進捗率は未達となったが、 事業は円滑に進んでいる。	継続	○	道路・交通の整備	道路・河川課
5	【まち】地域の活力を生み出す人 口確保・定着に向け魅力あるまち をつくる 【KPI】人口の社会増減:117人 (年平均:H27-H30)→ 現状数 の維持(年平均:R2-R6)	(1)良好な住環境の整備促 進 【KPI】20～40歳代の人口	若年層の結婚に係る住宅 関連費用補助による経済 的負担の軽減及び移住・定 住の促進(栗東市結婚新生 活支援事業の実施)	総合戦略で掲げる目標や本市の 特徴(合計特殊出生率・婚姻率 の高さなど)を踏まえ、他市と差別 化を図った制度の見直しを図 る。	子育て世代の定住促進による転出抑制	申請件数:63件(前年度実績の 1.2倍)	申請件数:55件	未達成	令和4年度の取組開始から継続して申請件数は増加しているが、令 和6年度には、県内市町の全てで結婚新生活支援事業が実施され たこともあり、昨年度実績から若干の伸びにとどまった。 実情に応じた制度見直しにより、他市町との差別化を図る必要が ある。	見直し(拡充・発展など)	○	子育て環境の充実	(旧)地方創生企画課 (現)企画政策課
6	【まち】地域の活力を生み出す人 口確保・定着に向け魅力あるまち をつくる 【KPI】人口の社会増減:117人 (年平均:H27-H30)→ 現状数 の維持(年平均:R2-R6)	(2)地域資源を活用したシ ティセーラスによるまちの 魅力発信 【KPI】まちの中で自分が愛 着や誇りを感じているもの を言える市民の割合	馬とのふれあいができる 公園整備の基本設計の実 施	基本設計においてサウンディング 調査を行い、「にきわい施設」 と「馬関連施設」の施設規模を決 める。	馬を活用した公園を整備することで、 利用者が馬を身近に感じ、「馬のまち」 として愛着や誇りを高める。	基本設計の実施 自然環境調査の実施	基本設計の実施 自然環境調査の実施	達成	基本設計においてサウンディング調査を実施、現計画の市場性を 確認し、基本設計を完了した。令和7年度以降においても適宜市民 との意見交換及びサウンディングを行いながら、市民、事業者がと もに魅力を感じる公園づくりを進める必要がある。	継続	○	馬を活かしたまちづくりの推進	健康運動公園 整備事業推進課
7	【まち】地域の活力を生み出す人 口確保・定着に向け魅力あるまち をつくる 【KPI】人口の社会増減:117人 (年平均:H27-H30)→ 現状数 の維持(年平均:R2-R6)	(2)地域資源を活用したシ ティセーラスによるまちの 魅力発信 【KPI】まちの中で自分が愛 着や誇りを感じているもの を言える市民の割合	公共施設を活用した民間 事業者によるホースセラ ピー事業の展開	継続して民間事業者と連携して 事業を実施する。 (広報大使やふるさと納税を活 用したPR等)	馬を活用した民間事業者による放課後 等サービス・児童発達支援事業を 通じて、利用者が馬を身近に感じるこ とで、「馬のまち」としての愛着や誇り を高める。	ホースセラピー事業の継続 【放課後等サービス】 契約者数230人 総利用件数7,400件 【発達児童支援】 契約者数70人 総利用件数2,400件	ホースセラピー事業の継 続 【放課後等サービス】 契約者数248人 総利用件数5,986件 【児童発達支援】 契約者数82人 総利用件数1,317件	未達成	放課後等サービス開所当時に小学生として利用開始された人 が、R6年度末に一斉に高校卒業等で利用終了時期を迎えました が、運営事業者において空いた利用枠に対し新規契約を獲得され ました。その結果契約者数が増え、契約者数は目標達成となりました。 未達成となった利用件数については、出席率アップのため、webシ ステムを活用してキャンセル待ちの方のアサインをより迅速に行つ ていく方法を検討されています。また、児童発達支援では、周辺市 町へのサービスPRで認知度を向上させ、比較的空きのある平日日 中の利用件数アップの施策を継続検討されています。	継続		馬を活かしたまちづくりの推進	(旧)広報課 (現)シティプロモー ション推進課
8	【まち】地域の活力を生み出す人 口確保・定着に向け魅力あるまち をつくる 【KPI】人口の社会増減:117人 (年平均:H27-H30)→ 現状数 の維持(年平均:R2-R6)	(2)地域資源を活用したシ ティセーラスによるまちの 魅力発信 【KPI】まちの中で自分が愛 着や誇りを感じているもの を言える市民の割合	ふるさとりっとう応援寄附 制度を通じた「馬のまち」 のPR	事務委託事業者と連携した新規 返礼品の開拓。 地場産品基準に基づいた馬関連 商品取扱い事業者への呼びか け。	ふるさと納税を通じて馬のまちとして の本市の魅力を感じ、興味・関心を持つ ていただくことで、本市への来訪・滞在 につなげ、消費を促す。	12社	12社	達成	馬関連返礼品の取り扱い事業者について、国規定の改正により1社 減、新規登録により1社増の結果、12社となりました。引き続き馬 関連取扱事業者を増やし返礼品のさらなる拡充を行い、馬のまち のPRを行っていく必要があります。	継続	○	馬を活かしたまちづくりの推進	(旧)広報課 (現)シティプロモー ション推進課
9	【まち】地域の活力を生み出す人 口確保・定着に向け魅力あるまち をつくる 【KPI】人口の社会増減:117人 (年平均:H27-H30)→ 現状数 の維持(年平均:R2-R6)	(2)地域資源を活用したシ ティセーラスによるまちの 魅力発信 【KPI】まちの中で自分が愛 着や誇りを感じているもの を言える市民の割合	市の広報大使「うますぎる 栗東大使」や協働型 Facebook「うますぎる 栗東」を活用した市の魅力 発信	広報大使の効果的な活用と、情 報発信の充実(魅力ある情報発 信)	市の魅力を発信することで、市民の市 に対する愛着や誇りが高まる。	広報大使としての活動(魅力発 信)回数 ・広報紙での発信 年6回以上 ・講演会以外の活動 3回以上 Facebookフォロワー数、閲覧者 数の増加 ・いずれも前年度比 +20%	広報大使の情報発信 ・広報紙への掲載 5回 ・Facebookへの投稿 19回 広報大使の活動実績 ・市内バスツアー 2回 ・講演会の実施 3回 ・市内イベントへの参加4回 Facebookフォロワー数 ・前年比+81人(R7.3月 末時点) R5.3 2,252人→ R6.3 2,333人	未達成	広報大使の活用 ・広報大使を活用した市内を巡るバスツアーや講演会を実施した。 また、令和6年度に任期満了となる広報大使(3名1団体)への再委 嘱を行うとともに、委嘱式と併せて市内で開催されたイベントへ大 使1名がゲストとして参加された。 概ね活動目標は達成できているが、広報大使によって活用実績の 幅に課題があることから、広報大使のさらなる活用に向けて、全庁 的な取り組みとして、市全体の魅力発信に向けて継続して取り組ん でいく必要がある。 Facebookフォロワー数 目標値は未達成となった。閲覧者数は26,793人と、R5年度の 36,430人から減少。Facebookの利用者が減少しており、令和 6年度に市公式LINEの運用を開始したことから、今後も効果的な SNS戦略を検討していく必要がある。	継続	○	シティセーラスの推進	(旧)広報課 (現)シティプロモー ション推進課
10	【まち】地域の活力を生み出す人 口確保・定着に向け魅力あるまち をつくる 【KPI】人口の社会増減:117人 (年平均:H27-H30)→ 現状数 の維持(年平均:R2-R6)	(2)地域資源を活用したシ ティセーラスによるまちの 魅力発信 【KPI】観光消費額	こんぜめぐりちゃんバスや 旧和中散本舗特別公開な ど、地域の特性や魅力を活 かした事業等の支援	継続して周知を行う	観光振興を進めることにより、本市の 知名度を上げ、ブランド力の向上によ り、人口確保につなげる。	こんぜめぐりちゃんバス利用者: 1,000人 旧和中散本舗特別公開来場者: 1,200人	こんぜめぐりちゃんバス令 和6年度利用者数… 1,034人 旧和中散本舗特別公開令 和6年度来場者数…636 人	未達成	こんぜめぐりちゃんバスについては目標を達成したが、旧和中散本 舗の特別公開の来場者数については目標数値の約半数であった。 令和5年度の来場者は772人であり、目標数値からは乖離してい る。来場者数増加に向けて、様々な媒体での情報発信を行い、来場 者数増加に向けて取り組む必要がある。	継続	○	観光の振興	商工観光労政課
11	【まち】地域の活力を生み出す人 口確保・定着に向け魅力あるまち をつくる 【KPI】人口の社会増減:117人 (年平均:H27-H30)→ 現状数 の維持(年平均:R2-R6)	(2)地域資源を活用したシ ティセーラスによるまちの 魅力発信 【KPI】住み慣れた地域で、 近隣との支えあいのもと、 安心して暮らせるまちづく りが推進されていると思う 市民の割合	ごみの減量化・資源化の推 進(家庭用廃食用油リサイ クル)	廃食用油を拠点回収場所まで、 より多くの方にお持ちいただ くため、令和6年度に配付予定 のごみの分別ガイドブックや広報・ ホームページ等で周知・啓発を 図る。	廃食用油をバイオディーゼル燃料にリ サイクルすることでごみの減量化、資源 化と温室効果ガス削減効果	廃食用油回収量 年間10,000ℓ	年間9,113ℓ	未達成	目標に対する達成率が91%であり、目標値を下回る結果となりました。 今後もより一層、地域の拠点施設であるコミュニティセンター 等における廃食用油回収について市民周知を図り、温室効果ガス の排出の少ないライフスタイルへと転換していく「脱炭素社会」に 向けて事業を継続していきます。	継続		循環型社会の推進	環境政策課
12	【まち】地域の活力を生み出す人 口確保・定着に向け魅力あるまち をつくる 【KPI】人口の社会増減:117人 (年平均:H27-H30)→ 現状数 の維持(年平均:R2-R6)	(3)誰もがいきいきと暮ら せるまちづくりの推進 【KPI】住み慣れた地域で、 近隣との支えあいのもと、 安心して暮らせるまちづく りが推進されていると思う 市民の割合	脱炭素社会の実現を目指 した取組の普及 (住宅用太陽光発電システ ム等設置費補助) (栗東市省エネ家電購入補 助)	再生可能エネルギーの活用促 進、補助制度利用者を増やすた め、広報掲載等によりさらなる 制度周知を図る。	再生可能エネルギーの活用を進め、温 室効果ガスの削減につなげる。また、家 庭内でのエネルギーの自給自足及び家 庭でのエネルギー消費性能に優れた家 電製品により、エネルギーを合理的に 使用し、市民の環境に配慮したまちづ くりを促進する。	・住宅用太陽光発電システム設置 補助申請件数 10件/年 ・住宅用蓄電池システム設置補助 申請件数 10件/年 ・省エネ家電購入補助申請件数 100件/年	・住宅用太陽光発電システ ム設置補助申請件数 6件 /年 ・住宅用蓄電池システム設 置補助申請件数 11件/年 ・省エネ家電購入補助申請 件数 92件/年	未達成	住宅用蓄電池システム設置補助申請件数は目標を達成したもの の、太陽光発電システム設置補助、省エネ家電購入補助の申請件数 は目標を達成できませんでした。 太陽光発電、蓄電池の補助については、滋賀県が実施する補助制 度の上乗せ補助であることから、滋賀県の補助事業事務を担当す る淡海環境保全財団と連携し、市民に対する広報、周知を図ってい きます。 また、省エネ家電の補助については、家電購入対象店舗である滋賀 県電気商業組合栗東支部と連携し、市民に対する広報、周知を図つ ていきます。	継続	○	循環社会の推進	環境政策課
13-1	【まち】地域の活力を生み出す人 口確保・定着に向け魅力あるまち をつくる 【KPI】人口の社会増減:117人 (年平均:H27-H30)→ 現状数 の維持(年平均:R2-R6)	(3)誰もがいきいきと暮ら せるまちづくりの推進 【KPI】住み慣れた地域で、 近隣との支えあいのもと、 安心して暮らせるまちづく りが推進されていると思う 市民の割合	地域包括支援体制の推進 (地域包括支援センターの 機能強化)	各地域包括支援センター職員と 課題解決に向け県域ケア会議 を開催します。	地域包括支援センターの資質向上を図 ることで、市民が住み慣れた地域で安 心して暮らせるまちづくりに寄与しま す。	地域包括支援センターを主体とし た圏域ケア会議の実施回数 9回	地域包括支援センターを 主体とした圏域ケア会議 の実施回数 8回	達成	予定実施回数より1回少なかったが、8回で令和6年度に押さえた い内容に到達できた。	継続		地域福祉の推進	長寿福祉課

	①基本目標及び数値目標 (KPI)	②計画期間中に取り組み 施策及び重要業績評価指 標(KPI)	③令和6年度に実施予 定の特徴ある取り組み	③- (2) 令和5年度の課題に 対する改善方策	④令和6年度の取り組みにより、 KPI達成に向けどのような効果が あるか	⑤令和6年度の目標(到達点・ 活動指標)	⑥年度末実績 (実施した内容、目標に 対する実績値)	⑦目標達 成状況	⑧実績に対する評価(目標達成要因、未達成要因、次年度以降 に向けた課題)	⑨取組の方向性	⑩第3期総合戦 略実行計画(令 和7年度版)での 取組の有無	⑩第6次総合計画の施策との関連	⑪担当課
13-2	【まち】地域の活力を生み出す人 口確保・定着に向け魅力あるまち をつくる 【KPI】人口の社会増減: 117人 (年平均: H27-H30) → 現状数の 維持(年平均: R2-R6)	(3) 誰もがいきいきと暮ら せるまちづくりの推進 【KPI】住み慣れた地域で、 近隣との支えあいのもと、 安心して暮らせるまちづく りが推進されていると思う 市民の割合	地域包括支援体制の推進 〔障がい福祉関係機関〕による 相談支援の実施〕	障がいのある人や家族が必要な 相談支援、サービスを受けるこ とができるよう、地域のネット ワークづくりの推進、相談員のス キル向上を目指す。	障がいのある人や家族が必要な相談支 援やサービスを受けることにより、地域 で自立した生活ができる。	基幹相談支援センター、地域活動 支援センター設置による総合的、 専門的な相談支援の実施 相談支援機関による相談延べ件 数9,000件	・自立支援協議会 定例会議 6回 運営会議 12回 発達 支援部会 1回 相談支援部会 6回 就 労部会 4回 ・基幹相談支援センター、 地域活動支援センター設 置による総合的、専門的な 相談支援の実施 相談支援機関による相 談延べ件数 8,153 件	達成	定例会では、自立生活の基盤となる地域生活支援拠点や就労選択 支援事業など新たな事業やサービスについての理解を深めること ができました。各部会においては事例検討、地域課題に対する意見 交換等も行うことにより、相談員の資質向上を図りました。相談業 務は、広域で各支援センターを設置して実施。障がいのある人やそ の家族、支援者からの各種相談に応えることができました。今後は より充実した相談支援体制を構築するための相談員の人材育成など が課題です。	継続	○	地域福祉の推進	障がい福祉課
14	【まち】地域の活力を生み出す人 口確保・定着に向け魅力あるまち をつくる 【KPI】人口の社会増減: 117人 (年平均: H27-H30) → 現状数の 維持(年平均: R2-R6)	(3) 誰もがいきいきと暮ら せるまちづくりの推進 【KPI】住み慣れた地域で、 近隣との支えあいのもと、 安心して暮らせるまちづく りが推進されていると思う 市民の割合	高齢者の社会参加促進に よる介護予防の推進〔介護 支援ボランティア事業等の 推進〕	個人宅でのボランティア受入の キャンセルにより、ボランティア をしようとしている人の気持ち がそがれないよう、ボランティア 受入希望登録申請があった際には、 丁寧に制度の趣旨を説明し、 やむを得ない理由以外でのキャン セルを減らします。	個人宅でのボランティアの活動を活性 化させ、誰もが支え・支えられているこ とを実感することにより、安心して暮ら せるまちづくりが推進されていると感 じることができる。	個人宅でのボランティアについ て、ボランティアの受け入れを希 望する人とボランティア活動をし ても良いという人のマッチング 後、実際に活動に結びついた割合 90%	個人宅でのボランティアに ついて、14人がマッチング 後、13人が実際のボラン ティア活動に繋がりました (92.8%)	達成	個人宅での受け入れを希望する人に対し、ボランティア受入につ いての注意点など丁寧な説明を行い、マッチング後に当制度につ いての理解が生まれぬようにしたことで、目標を達成するに至りま した。引き続き、制度に対する理解を促し、ボランティア活動を推進 する必要があります。	継続		高齢者福祉の推進	長寿福祉課
15	【まち】地域の活力を生み出す人 口確保・定着に向け魅力あるまち をつくる 【KPI】人口の社会増減: 117人 (年平均: H27-H30) → 現状数の 維持(年平均: R2-R6)	(3) 誰もがいきいきと暮ら せるまちづくりの推進 【KPI】健康寿命の延伸	高齢者自らの健康づくり の継続的な取り組み支援 〔いきいき百歳体操等の実 践の推進〕	世代ギャップ等により、既存団体 に途中参加しにくい現状もある ため、同一地域であっても別グ ループを立ち上げることも可能 であることを情報提供する。	多くの高齢者が社会参加、介護予防に 取り組むことで健康寿命の延伸に寄与 する。	いきいき百歳体操の実践団体数 77団体	いきいき百歳体操の実践 団体数 75団体	未達成	新たにいきいき百歳体操を開始した団体は3ありましたが、団体の 高齢化に伴い活動を休止された団体が3あり、目標達成できません でした。	継続	○	高齢者福祉の推進	長寿福祉課
16	【まち】地域の活力を生み出す人 口確保・定着に向け魅力あるまち をつくる 【KPI】人口の社会増減: 117人 (年平均: H27-H30) → 現状数の 維持(年平均: R2-R6)	(3) 誰もがいきいきと暮ら せるまちづくりの推進 【KPI】住み慣れた地域で、 近隣との支えあいのもと、 安心して暮らせるまちづく りが推進されていると思う 市民の割合	認知症になっても安心し て暮らせる地域づくり〔認 知症サポーター養成講座 等市民啓発の実施〕	認知症サポーター養成講座につ いては、住民団体のみならず、民 間企業や小学校にも開催を勧め るため、同一小学校に対しては全 ての小学校で開催されるよう公聴 会で働きかけ。	認知症施策を実施することは、市民が 住み慣れた地域で安心して暮らせるま ちづくりに寄与します。	認知症サポーター数 累計7,500人	認知症サポーター数 累計7,634人	達成	令和6年度は民間企業や自治会からの依頼が多く目標を達成する ことができました。	継続		高齢者福祉の推進	長寿福祉課
17	【まち】地域の活力を生み出す人 口確保・定着に向け魅力あるまち をつくる 【KPI】人口の社会増減: 117人 (年平均: H27-H30) → 現状数の 維持(年平均: R2-R6)	(3) 誰もがいきいきと暮ら せるまちづくりの推進 【KPI】住み慣れた地域で、 近隣との支えあいのもと、 安心して暮らせるまちづく りが推進されていると思う 市民の割合	地域福祉活動や地域づく り、まちづくりへの参画の 仕組みづくり(コミュニテ ィソーシャルワーカーの配置 支援)	コミュニティソーシャルワーカー の資質向上と各関係機関との良 好な関係性を維持し、地域福祉 活動に取り組みます。	地域福祉活動の中心を担う、民生委員 児童委員の未選任地区において、コ ミュニティソーシャルワーカーの配置を 支援し、活動がスムーズに行えるように します。	住民主体の地域活動をサポートす るとともに、支援者と支援を必要 とする人との結びつきを通じて、 必要な人に必要な支援が届く体 制をつくります。	相談: 807 訪問同行: 7件 面談: 284件	達成	近年の高齢化や貧困など複雑化、複合化した課題を抱えた方々の 対応に苦慮している現状があります。的確に専門機関に繋ぐため にも、各関係機関と連携を密にしながら取り組むことが必要です。	継続		地域福祉の推進	社会福祉課
18	【まち】地域の活力を生み出す人 口確保・定着に向け魅力あるまち をつくる 【KPI】人口の社会増減: 117人 (年平均: H27-H30) → 現状数の 維持(年平均: R2-R6)	(3) 誰もがいきいきと暮ら せるまちづくりの推進 【KPI】住み慣れた地域で、 近隣との支えあいのもと、 安心して暮らせるまちづく りが推進されていると思う 市民の割合	生活支援体制整備事業の 実施〔生活支援コーディ ネーター(地域支え合い推 進員)による住民の主体的 な取り組みの支援〕	地域づくりに対するノウハウを 持つNPOや大学講師などと連 携し、地域住民主体の活動に寄 り添った支援を行います。	住民同士が繋がる場ができることは、 住み慣れた地域で、近隣との支えあい のもと、安心して暮らせるまちづくりに 寄与します。	生活支援体制整備事業において、 地域住民と新たな活動に向けた 協議体の数 3	生活支援体制整備事業に おいて、地域住民と新たな 活動に向けた協議体の数 9	達成	生活支援体制整備事業において、委託事業者に新たにNPOを加え たことで実績が伸びました。	継続		高齢者福祉の推進	長寿福祉課
19	【まち】地域の活力を生み出す人 口確保・定着に向け魅力あるまち をつくる 【KPI】人口の社会増減: 117人 (年平均: H27-H30) → 現状数の 維持(年平均: R2-R6)	(3) 誰もがいきいきと暮ら せるまちづくりの推進 【KPI】	手話の啓発、コミュニケー ション支援の推進	・手話や点字を継続して学が支 援を点する。 ・障がいの特性や多様なコミュニ ケーション手段について知る機 会をつくる。	・手話を必要とする人が安心して暮ら すことができる。 ・障がいのある人が、自分に合ったコ ミュニケーション手段が使いやすくな る。 ・盲ろう通訳・介助者養成講座を市 広報お知らせ版に掲載	・手話講座(基礎課程) 全26回 定員20人 ・点字体験講座 年1回 定員10 人 ・盲ろう通訳・介助者養成講座を市 広報お知らせ版に掲載	・手話講座(基礎課程)全 28回 受講 15人、修了 14 人 ・要約筆記者養成講座を市 広報お知らせ版に掲載	達成	受講生15人中、昨年度の入門講座修了生が12人、また受講生のほ とんどが基礎課程を修了することができ、長期間であったが継続し て手話の学習ができる環境をつくることができました。また、サークル 活動に参加する受講生も多く、地域のろう者とともに活動する人材 の育成につながった。サークル活動に対する支援などが必要です。	継続	○	障がい者福祉の推進	障がい福祉課
20	【まち】地域の活力を生み出す人 口確保・定着に向け魅力あるまち をつくる 【KPI】人口の社会増減: 117人 (年平均: H27-H30) → 現状数の 維持(年平均: R2-R6)	(3) 誰もがいきいきと暮ら せるまちづくりの推進 【KPI】健康寿命(平均自立 期間)の延伸	社会教育施設の整備〔国民 スポーツ大会へ向けた市 民体育館の改修〕	社会教育施設の整備〔国民ス ポーツ大会へ向けた市民体育館 の改修〕	今後の継続した市民体育館の利用者の 増加。	老朽化に伴う市民体育館の改修 を適宜行うことで、今後の利用者の 増加を促進し、健康寿命の延伸 に繋げる。	老朽化に伴う市民体育館の改修 を適宜行うことで、今後の利用者の 増加を促進し、健康寿命の延伸 に繋げる。	達成	市民体育館を改修し多くの市民が利用できるようになった。また、国民ス ポーツ大会を含めた今後の継続した施設の利用については、老朽化によ る対応を含めた社会教育施設の整備をはかり、安心安全に市民がスポー ツに取り組める環境を整えていく必要がある。	継続	○	スポーツの振興	スポーツ・文化振興課
21	【まち】地域の活力を生み出す人 口確保・定着に向け魅力あるまち をつくる 【KPI】人口の社会増減: 117人 (年平均: H27-H30) → 現状数の 維持(年平均: R2-R6)	(3) 誰もがいきいきと暮ら せるまちづくりの推進 【KPI】住み慣れた地域で、 近隣との支えあいのもと、 安心して暮らせるまちづく りが推進されていると思う 市民の割合	「第五次障く未来計画」の 推進	推進員が中心となって地区別懇 談会を進めていけるように推進 員のためのリーダー講座の特別 コースを設定し、学びの楽しさ を感じたり、自主的に進めていく 意欲につながりやすくなる。	各自治会が、社会人権教育推進員を中 心に、主体的に地区別懇談会に取り組 むことで、近隣とのつながりや安心して 暮らせるまちづくりにつながる。	地区別懇談会の開催にあたり、各 自治会で身近な人権課題を取り 上げ、主体的に取り組むことがで きた割合が70%以上。	推進員へのアンケート項目 である「テーマ・コースの選 択など自治会の希望や思 いをもとに懇談会が実施 できましたか」において、 81%が「できた」と回答 し、主体性の向上がみられ る。	達成	地区別懇談会説明会においてミニ研修を実施し、各自治会の社会 人権教育推進員に人権の学びのよさを感じてもらうことができた。 5つのコース設定を行い、自治会の他の会議等と開催日程を合わ せるなどの工夫を呼びかけ、また、「研修会コース」の選択自治会も 昨年度より増え、各自治会の実情に合わせて実施いただいた。令和 7年度からの実施方法等の変更に伴い、各自治会においての取り 組みが継続していけるように、的確な対応や情報提供を行っていく 必要がある。	継続		人権・平和の推進	人権擁護課
22	【まち】地域の活力を生み出す人 口確保・定着に向け魅力あるまち をつくる 【KPI】人口の社会増減: 117人 (年平均: H27-H30) → 現状数の 維持(年平均: R2-R6)	(3) 誰もがいきいきと暮ら せるまちづくりの推進 【KPI】住み慣れた地域で、 近隣との支えあいのもと、 安心して暮らせるまちづく りが推進されていると思う 市民の割合	市民団体によるまちづくり 活動の支援〔未来へつなぐ 市民活動応援事業の推進〕	予備的候補団体があり、支援が 必要である。また、新たな市民活 動団体の登録啓発を促進する。	ふるさと納税(ふるさとりっとう 応援寄附)を活用し、継続してほしい市民活動 を支援する。市民活動団体にとっては 活動継続のための資金調達の手段とな り、安心して暮らせるまちづくりの一助 となる。	ふるさと納税(ふるさとりっとう 応援寄附)を活用した市民活動団 体新規登録団体数 1団体以上	ふるさと納税(ふるさと りっとう応援寄附)を活用 した市民活動団体 新規登 録1団体	達成	新たに1団体の登録ができたが、制度の周知が不足している。募集 要項は多く配布したが、反応が少なく、登録につながっていない交 流を通じた周知の機会を設けるなど、制度の理解が進みややすい方 法を検討する。	継続		市民参画と協働の推進	自治振興課
23	【ひと】若い世代の出産・子育て の希望をかなえる 【KPI】合計特殊出生率 : 現状値の維持(1.98)	(1) 妊娠・出産・子育てをつ く安心の支援 【KPI】待機児童数	各小学校区に設置してい る児童館の機能充実〔家庭 内保育の保護者をはじめと する子育てに関する各 種相談への対応や事業の 展開〕	・児童館の利用者ニーズの把握 が不十分であることから、利用 者アンケートを実施し、児童館の 機能充実に繋げる。	①について、児童館利用者ニーズをと らえた子育て支援や親育ちを支える講 座を開催し、子育てへの不安や孤独感 を解消することで、合計特殊出生率維 持への効果が期待できる。	・アンケートの回答や相談内容か ら子育て支援や、親育ちを支える 子育て講座の開催や相談員のス キルアップのための研修の受講な ど児童館の機能充実を行う。	・栗東市子ども・子育て支 援に関するアンケートを参 考にして、よりよい児童館 運営についての検討を 行った。 ・子育て講座後のアンケ ートを実施し、子育て講座や 相談業務に役立てること ができた。 ・小学生が参加できる活動 のニーズが高いため、長期 休業中にゲーム遊びや制 作活動などを実施した。	達成	・アンケート等で児童館利用者のニーズを把握し、今後の児童館と 子育て支援センターのあり方についての検討を具体的にを行い、充 実を図っていく必要がある。 ・児童館によって来館者の年齢層やニーズに違いがあるため、それ ぞれの児童館の特色を出していきながらの運営が可能かどうかも含 めて、今後の方向性の検討が必要である。 ・様々なニーズに答えるためには、職員体制の見直しや職員の確保 が必要である。	継続	○	子育て環境の充実	子育て支援課

	①基本目標及び数値目標 (KPI)	②計画期間中に取り込む 施策及び重要業績評価指標 (KPI)	③令和6年度に実施予 定の特徴ある取り組み	③-(2)令和5年度の課題に 対する改善方策	④令和6年度の取り組みにより、 KPI達成に向けたどのような効果が あるか	⑤令和6年度の目標(到達点・ 活動指標)	⑥年度末実績 (実施した内容、目標に 対する実績値)	⑦目標達 成状況	⑧実績に対する評価(目標達成要因、未達成要因、次年度以降 に向けた課題)	⑨取組の方向性	⑩第3期総合戦 略実行計画(令 和7年度版)での 取組の有無	⑩第6次総合計画の施策との関連	⑪担当課
24	【ひと】若い世代の出産・子育て の希望をかなえる [KPI]合計特殊出生率 :現状値の維持(1.98)	(1)妊娠・出産・子育てをつ なく安心の支援 [KPI]待機児童数	学童保育所・地域子育て支 援センター・児童館の充実 [運営の充実及び施設の維持 補修]	・令和7年度において、入所希望 者が増加すると見込まれる小学 校区については、民設学童の募 集、小学校の空き教室の活用等 を検討し、受入れ施設を整備す る。 ・各施設における施設環境整備 については、緊急性・安全性を踏 まえ、順次改修や修繕の対応を 図る。	①について、民設学童保育所を整備、 また老朽化施設に対して改修・修繕を 行い受け皿を確保することで、子育て と仕事の両立を支援し、合計特殊出生 率維持への効果が期待できる。	・学童保育所において、今後も入 所希望児童の増加が見込まれる 小学校区については、民設学童保 育所設置・運営事業者を募集し、 受入施設を整備する。 ・緊急性・安全性を踏まえ、優先度 を判断しながら各施設の維持補 修を行う。	・治田小学校区において、 公募型プロポーザル方式 により民設民営の運営事 業者を決定し、施設整備を 行った。 ・公設における既存施設の 環境整備については、老朽 化の対応として、金勝・栗 山学童保育所空調設備改 修工事や大生学童保育所 フローリング張替工事等 を行った。	達成	・治田小学校区の他に治田西・栗山東小学校区で同様の募集を行っ たが、応募事業者が無く決定に至らなかったため、実際に利用超 過が見込まれた小学校区においては、児童館の一部を借用する等 の対策を講じ、受け入れ施設の確保を行った。令和8年度において も、既存施設での受け入れが困難な小学校区においては、施設整備 や他の公共施設の活用等を視野に入れ、受け皿確保の検討を行う 必要がある。 ・施設の環境整備については、緊急性・安全性を踏まえ、優先順位 を考慮しながら、各施設の修繕を行うことができた。次年度以降に おいても、児童が安心・安全に過ごせるよう計画的な設備等の更新 や修繕を行う必要がある。	継続	○	子育て環境の充実	子育て支援課
25	【ひと】若い世代の出産・子育て の希望をかなえる [KPI]合計特殊出生率 :現状値の維持(1.98)	(1)妊娠・出産・子育てをつ なく安心の支援 [KPI]待機児童数	赤ちゃんおむつ等の購入 費用を助成	直接案内できていない対象者を 把握し、他の手続きなどに併せ て案内できるように関係課と連 携して支援体制を整える。	①について、安心して妊娠、出産、子育て ができる環境づくりに効果を発揮す ることで、合計特殊出生率の上昇トレ ンドに影響を与える。	出生及び転入による新たな対象 者全員への周知と申請機会を提 供する。	対象者751人のうち748 名に対し給付を行い、子育て で家庭の経済的負担を軽減し、安心して子育てがで きる環境を整備した。また、 実績を基に制度周知や 案内の内容を見直したほか、 対象者の9割を対象者 出生等の各種届出時に併 せて案内し、それ以外の全 員についても周知と申請 機会を提供できている。	達成	制度周知については、案内の体制構築により、全ての対象者への案内 を実施できしており、申請機会についても、直接案内できていない 方へは、電話や郵送により、申請方法の提示ができていた状態である。 また、他の自治体や情報誌からの当制度に関する照会も複数あり、 発信が対外向けにもつながっている。 次年度以降は、案内・申請の体制を維持しながら、助成券の利用率 を向上させるため、取り扱い事業者の状況など、利用しやすい状態 について、分析を行う必要がある。	継続		子育て環境の充実	子育て支援課
26	【ひと】若い世代の出産・子育て の希望をかなえる [KPI]合計特殊出生率 :現状値の維持(1.98)	(1)妊娠・出産・子育てをつ なく安心の支援 [KPI]待機児童数	ふたご・みつこ出産就学支 援助成事業	ホームページや広報など様々な 媒体を通して、広く周知を行うと ともに、出生届提出時や進学時 に関係課と連携することで、す べての受給者へ制度について情 報提供を行う等、支援体制を整 える。	①について、経済的支援を行い子育て にかかる費用の負担軽減を図るこ とで、子育て世代を中心とした定住促進 が図られ、合計特殊出生率の維持への 効果が期待できる。	令和6年度におけるふたご・みつ こを養育する全対象世帯に給付 するべく、ホームページや広報、 SNSや関係機関等を通じ、対象 者に広く制度を周知する。	全対象世帯に給付を行う ことができ、多胎児世帯の 経済的負担の軽減を図る ことができた。 出生:17世帯 小学校入学:11世帯 中学校入学:20世帯(うち、 みつこ:1世帯) 高等学校入学:8世帯	達成	・令和6年度においては、広報活動や関係課との連携によって、全 対象世帯に給付を行うことができた。引き続きホームページや広報 等で制度周知を行うとともに、関係課と連携して個別案内を行うこ とが必要である。 ・また、アンケート調査等を通して事業の効果・検証を行うことが必 要である。	継続		子育て環境の充実	子育て支援課
27	【ひと】若い世代の出産・子育て の希望をかなえる [KPI]合計特殊出生率 :現状値の維持(1.98)	(1)妊娠・出産・子育てをつ なく安心の支援 [KPI]待機児童数	民間活力の導入[民間事業 者が運営する私立保育園 等の新たな施設整備]	令和5年度の公募事業につい て、新たな事業候補地を選定し た上で事業に取り組む。 第3期栗東市子ども・子育て支 援事業計画の中で、就学前人口 の減少や女性の就業率の高まり による保育ニーズの上昇を考慮 し、就学前教育・保育施設の利用 見込みを見極め、受け皿確保の ための整備等を検討する必要がある。	待機児童の解消に繋がる。	民設民営化等の取組を進め、待機 児童の解消に繋げる。また、公立 園のこども園化の取組も併せて 進める。	公立園のこども園化 1園 法人園(認定こども園)の 建設に向けた準備 1園	達成	職員配置の見直し等により、公立園1園をこども園化、こども園で 夏季休業中の預かり保育を実施。 法人園について、同一事業者により新たな候補地で開園(建設)に 向けた準備をしている。 また、保育ニーズに対応するため、第3期栗東市子ども・子育て支 援事業計画に基づく計画を推進する必要がある。	継続	○	就学前教育・保育の充実	幼児課
28	【ひと】若い世代の出産・子育て の希望をかなえる [KPI]合計特殊出生率 :現状値の維持(1.98)	(1)妊娠・出産・子育てをつ なく安心の支援 [KPI]待機児童数	就学前教育・保育の人材 (潜在保育士含む)の確保 [保育関連就職説明会や研 修会の実施]	保育のおしごとフェアや相談会 の参加者を増やすため、指定保 育士養成施設(大学)を訪問し、 周知する。 また、潜在保育士の雇用にかか る費用を助成する。	待機児童の解消に繋がる。	保育のおしごとフェアや相談会・ 研修会の実施により、9名以上の 保育士を雇用に繋げる。	保育のおしごとフェアを年 2回開催。相談会を9月から 12月で実施。 市内園への就職については 年度末時点で10名で あった。	達成	保育のおしごとフェアを学生の就職活動時期に合わせて早い時期 に実施できたため、目標の9名以上の保育士の雇用に繋げること ができた。 一方で、多様な保育ニーズに対応するためには、新卒保育士及び潜 在保育士など、さらなる保育士の確保が必要である。	継続	○	就学前教育・保育の充実	幼児課
29	【ひと】若い世代の出産・子育て の希望をかなえる [KPI]合計特殊出生率 :現状値の維持(1.98)	(1)妊娠・出産・子育てをつ なく安心の支援 [KPI]待機児童数	福祉医療費の助成(子ども 医療費助成事業、乳幼児 福祉医療費助成事業を実施)	令和6年4月から高校生世代ま で対象者を拡大したため、制度 の周知(未申請者への勧奨等)を 行っている。	出生から高校生世代まで医療費を助成 することで子育てで家庭の経済的負担を 軽減し、安心して子どもを生育てら れる環境をつくる。	乳幼児及び子ども医療費受給券 の発行率 98%以上 ※制度に該当されている方の申 請漏れがないように申請勧奨等 を行う。	乳幼児及び子ども医療費 受給券の発行率 99%	達成	福祉医療助成制度があることで、自己負担が少なくなるため、医療 機関の安易な受診にならないよう医療保険制度の適切な利用や医 療費の適正化についても啓発する必要があります。	継続		保険・年金制度の適正な運営	保険年金課
30	【ひと】若い世代の出産・子育て の希望をかなえる [KPI]合計特殊出生率 :現状値の維持(1.98)	(1)妊娠・出産・子育てをつ なく安心の支援 [KPI]待機児童数	若年層の結婚に係る住宅 関連費用補助による経済 的負担の軽減及び移住・定 住の促進(栗東市結婚新生 生活支援事業の実施)【再掲】	総合戦略で掲げる目標や本市の 特徴(合計特殊出生率・婚姻率 の高さなど)を踏まえ、他市と差別 化を図った制度の見直しを図 る。	子育て世代の定住促進による転出抑制	申請件数:63件(前年度実績の 1.2倍)	申請件数:55件	未達成	令和4年度の取組開始から継続して申請件数は増加しているが、令 和6年度には、県内市町全てで結婚新生活支援事業が実施され たこともあり、昨年度実績から若干の伸びにとどまった。 実績に応じた制度見直しにより、他市町との差別化を図る必要が ある。	見直し(拡充・発展など)	○	子育て環境の充実	(旧)地方創生企画課 (現)企画政策課
31	【ひと】若い世代の出産・子育て の希望をかなえる [KPI]合計特殊出生率 :現状値の維持(1.98)	(1)妊娠・出産・子育てをつ なく安心の支援 [KPI]待機児童数	ブックスタート事業とし て、乳児と保護者を対象に 4か月児健診時に、親子の 絆を深めるきっかけ作り として、絵本の読み聞かせ と配布を行う。	R6からの新規事業	4か月児健診のほか、児童館等でも読 み聞かせイベントを開催し、親子が絵本 を介して触れ合うきっかけを提供し、子 どもの読書環境及び子育て環境の向上 が図れることで、合計特殊出生率の維持 へと効果が期待できる。	こども家庭センターや図書館と連 携し、4か月児健診に絵本2冊の 配布及び児童館職員によ る読み聞かせを実施した。	令和6年度誕生児に対し、 4か月検診時に絵本2冊の 配布及び児童館職員によ る読み聞かせを実施した。	達成	事業初年度であったが、配布・読み聞かせを4か月検診の流れに 組み込むことによって円滑に実施することができ、保護者の反応も 概ね良好であった。	継続		子育て環境の充実	子育て支援課
32	【ひと】若い世代の出産・子育て の希望をかなえる [KPI]合計特殊出生率 :現状値の維持(1.98)	(2)確かな学力と生きる力 を育む教育環境の整備 [KPI]授業の内容がよくわ かる児童(6年生)の割合	学ぶ意欲や基礎学力の向 上及び「きらりリチャレ ンジ」(栗東子育て教育Ne xtプロジェクト)の推進	学ぶ意欲や基礎学力の向上にむ けた授業改善の実施、「栗東子 育て教育Nextプロジェクト」の推 進	各校が「学ぶ力向上策」をもとに授業改 善を実施することにより、授業がよくわ かる児童が増え、児童の学ぶ意欲の向 上につなぐことができる。また、「栗東 子育て教育NEXTプロジェクト」の取組 により、保幼小中学校での共通した取 組が期待できる。	各校年間1回、学ぶ力向上学校訪問 時に授業改善について指導助言を実 施する。また、「栗東子育て教育 NEXTプロジェクト」において各中 学校区ごとに保幼小中学校での取組を進 める。	「栗東子育て教育NEXTプロ ジェクト」に基づいて、非認知能 力を高める取組みを、中学校区 ごとに各校1回以上実施でき た。 授業の内容がよくわかる児童 (6年生)の割合がR1(79.1%) からR5(85.6%)と少しずつ増 加していたが、R6は85.4%で あった。	達成	全国学力・学習状況調査の結果から、各校において授業改善に取組 み、授業の内容がよくわかる児童の割合が目標値を上回った。 さらに授業改善を進めるために、令和6年9月から導入した授業支 援システムを積極的に活用し、学習用端末を使って児童生徒が自分 の考えをたくさん話す授業づくりを通して、授業の内容がよくわか る目標値に達することを引き続き目指す。	継続	○	学校教育の充実	学校教育課
33-1	【ひと】若い世代の出産・子育て の希望をかなえる [KPI]合計特殊出生率 :現状値の維持(1.98)	(2)確かな学力と生きる力 を育む教育環境の整備 [KPI]授業の内容がよくわ かる児童(6年生)の割合	学校施設・設備の充実(公 立学校施設大規模改造事 業の推進、GIGAスクール 構想で配備した機器の利 活用)	ICT活用による授業改善や学習 内容の充実を図るため、効果的 な活用法を検証する必要がある。 。	個別最適な学習と協働的な学習を効果 的に組み合わせた授業改善と検証を重ね ることで、個に応じた学習環境を整 えることができる。	各校において、ICTの効果的活用 法を視点にした授業公開を1回 以上するとともに、モデル校の公 開授業を1回以上参観し、担当者 の自己研鑽と各校の授業改善へ の啓発を行う。	授業公開を1回以上実施し た。授業の内容がよくわか る児童(6年生)の割合は 昨年度より0.2%減少し、 85.4%となったが、目標 値83.0%は達成してい る。	達成	授業支援システムを実施し、各校においてICTを活用した授業公開 を実施するとともに、モデル校での公開授業を行うことにより、個 別最適な学びと共同的な学びを効果的に組み合わせることで授業改 善を推進することができた。次年度も、授業支援システムを活用し た授業改善を推進していくことが必要である。	継続	○	学校教育の充実	学校教育課
33-2	【ひと】若い世代の出産・子育て の希望をかなえる [KPI]合計特殊出生率 :現状値の維持(1.98)	(2)確かな学力と生きる力 を育む教育環境の整備 [KPI]授業の内容がよくわ かる児童(6年生)の割合	学校施設・設備の充実(公 立学校施設大規模改造事 業の推進、GIGAスクール 構想で配備した機器の利 活用)	学校及び業者との綿密な連絡調 整を行うとともに、部材調達な どについては、早期の情報共有 を図っていく。	小学校・中学校の施設整備により、確かな 学力と生きる力を育む教育環境を充 実させる。	大規模改造・増築事業 3校 ・治田小学校校舎増築事業 ・栗東西中学校大規模改造事業 ・栗山中学校グラウンド改修事業	・治田小学校校舎増築事業 ・栗東西中学校大規模改造 事業 ・栗山中学校グラウンド改 修事業 計3校における教育環境 改善事業を実施	達成	全事業において計画通り進捗が図れた。大規模改造事業につい ては、引き続き学校や施工業者等と調整を図りながら、安全・安心な 教育環境の充実に向けて事業を進めていく必要がある。	継続		学校教育の充実	教育総務課
34-1	【ひと】若い世代の出産・子育て の希望をかなえる [KPI]合計特殊出生率 :現状値の維持(1.98)	(2)確かな学力と生きる力 を育む教育環境の整備 [KPI]授業の内容がよくわ かる児童(6年生)の割合	給食等を通じた食育の推 進[地元食材を活用した給 食等]	地域の食文化について食事の前 に学ぶ機会を設定する。	栄養教諭による授業や指導資料の活用 等により、伝統的な食文化について理 解を深めることができる。	「栗東食材の日」を中心に、月1回 の「食育の日」と関連付けて食育 を進める。	毎月19日(前後)に「食育 の日」を設定し、各学校で 特色ある取り組みを市内 学校12校すべてで実施し た。	達成	各学校において、食に関する指導の全体計画に取り入れ、年間を通 して学校全体で取り組む意識を高めていく必要がある。また、栄養 教諭や生徒会活動、農業体験や学校給食等を活用し、各学校特色 のある活動をさらに深め充実させていく必要がある。	継続	○	学校教育の充実	学校教育課

	①基本目標及び数値目標 (KPI)	②計画期間中に取り組み 施策及び重要業績評価指 標(KPI)	③令和6年度に実施予 定の特徴ある取り組み	③- (2)令和5年度の課題に 対する改善方策	④令和6年度の取り組みにより、 KPI達成に向けたような効果が あるか	⑤令和6年度の目標(到達点・ 活動指標)	⑥年度末実績 (実施した内容、目標に 対する実績値)	⑦目標達 成状況	⑧実績に対する評価(目標達成要因、未達成要因、次年度以降 に向けた課題)	⑨取組の方向性	⑩第3期総合戦 略実行計画(令 和7年度版)での 取組の有無	⑪第6次総合計画の施策との関連	⑫担当課
34-2	【ひと】若い世代の出産・子育て の希望をかなえる 【KPI】合計特殊出生率 :現状値の維持(1.98)	(2)確かな学力と生きる力を 育む教育環境の整備 【KPI】授業の内容がよくわ かる児童(6年生)の割合	給食等を通じた食育の推 進【地元食材を活用した給 食等】	映像などを用い、どのような状 況においても学習が進められ るよう工夫する。	食育授業と学校給食が連動するこ とで、授業内容の理解度が向上すると考 える。	小学3・4・5・6年生と中学1年生 を対象にした食育授業の実施	小学3・4・5・6年生と中学 1年生に食に関する指導を 実施(内、小学4,5年生 は、食に関する映像授業)	達成	映像提供による授業など、工夫をしながら目標を達成できた。 食育授業と学校給食が連動し、地元食材などの地域理解とともに、 成長期に必要な栄養素や摂取量の理解を深める必要がある。	継続	○	学校教育の充実	学校給食共同調理場
34-3	【ひと】若い世代の出産・子育て の希望をかなえる 【KPI】合計特殊出生率 :現状値の維持(1.98)	(2)確かな学力と生きる力を 育む教育環境の整備 【KPI】授業の内容がよくわ かる児童(6年生)の割合	給食等を通じた食育の推 進【地元食材を活用した給 食等】	栽培活動を引き続き行い、その 食材を使ってクッキング活動 を取り入れるなど食材を五感で感 じ取れるような取り組みを進め る。	給食を通して、地域の食材や郷土食の 献立に触れることで、地域の良さを感じ ると共に食育活動を通して、食の大 切さを知る。	11か園で食育活動を推進する。	各園で栽培活動を実施し、 収穫の喜びを味わうと共 に、食への関心を高めるこ とができた。毎月の給食だ よりにより、保護者への食 の大切さを伝え、簡単な調 理レシピを掲載して、家庭 においても旬の食材によ る手作りの良さを伝えた。	達成	クッキング活動は11園すべてで実施することができた。 近年の気温上昇により、野菜自体の成長に影響があること、また、 熱中症防止のため園児が栽培や収穫活動を体験することが困難に なっているなど、活動が制限されるケースが多いことから、別 の方法で食への関心が高められる方法を検討する必要がある。	継続	○	学校教育の充実	幼児課
35	【ひと】若い世代の出産・子育て の希望をかなえる 【KPI】合計特殊出生率 :現状値の維持(1.98)	(2)確かな学力と生きる力を 育む教育環境の整備 【KPI】授業の内容がよくわ かる児童(6年生)の割合	生産者と消費者の交流の 促進【農業体験事業や伝統 食・郷土料理体験】	農業指導が可能な農業者の発掘 等をJAや関係機関と情報共有 を図りながら取り組む。	農業に関わる授業数を割り当てるこ により、農業の大切さ等授業内容がわ かる児童の増加を見込む。	たんぼのこ事業全小学校で実施 9校	たんぼのこ事業 実施校 8校	未達成	農業者の高齢化に伴い、たんぼのこ体験の講師をしていただける 農業者が減少しつつあるため、講師の確保が課題となってくる。	継続		農林業の振興	農林課
36	【ひと】若い世代の出産・子育て の希望をかなえる 【KPI】合計特殊出生率 :現状値の維持(1.98)	(3)すべての子どもの育ちの 支援 【KPI】不登校生徒在籍率 (中学生)	様々な発達支援サービス の提供	専門員の訪問により、各機関が 役割を踏まえた連携を図り、効果 的な支援に繋げる。	各機関の役割を明確にして支援に取り 組むことにより、発達が気になる段階 から支援に着手することができる。	巡回専門員派遣回数70回	巡回専門員派遣回数 44回	未達成	各機関からの派遣依頼は減少しているものの、専門員の訪問により 早期に発達支援サービスに繋げることができました。引き続き、 適切な時期に適切な支援に繋げていくため、専門員が各機関を訪問 する必要があります。	継続		子育て家庭への支援	発達支援課
37	【ひと】若い世代の出産・子育て の希望をかなえる 【KPI】合計特殊出生率 :現状値の維持(1.98)	(3)すべての子どもの育ちの 支援 【KPI】不登校生徒在籍率 (中学生)	不登校児童・生徒等に対する 支援【学校サポート支援 員の設置】	学校サポート支援員の増員を進 めるとともに、校内教育支援セ ンターの充実を図る。	校内教育支援センターの充実を図るこ とで、不登校・不適応症状の緩和が期 待できる。	不登校児童生徒の在籍率の低減 を進める。	不登校生徒の居場所を確 保し、不登校者数が不登校 者数が、昨年度に比べ 14.7%減少した。	達成	不登校生徒の居場所の確保として、校内教育支援センターの充実 を図り、支援コーディネーターを中心に、サポート支援員の補助の もと運営を強化したことが1つの要因である。	継続	○	学校教育の充実	学校教育課
38	【ひと】若い世代の出産・子育て の希望をかなえる 【KPI】合計特殊出生率 :現状値の維持(1.98)	(3)すべての子どもの育ちの 支援 【KPI】不登校生徒在籍率 (中学生)	いじめ対策の推進(いじめ 等対策参事員の設置)	学校訪問により、各校のいじめ 対策の取組や保護者対応につい て課題解決に向けて助言する。	いじめ等の問題に対して、初期対応を 的確に指示し、いじめ不登校重大事態 にならないように学校へ助言する。	いじめが要因の不登校児童生徒 を0人にする。	いじめが要因で不登校に なった生徒が1名おり、不 登校重大事態となった。	未達成	いじめの早期解決に向けて、学校に初期対応から指導や助言を 行ったが、保護者と学校の認識の違い、不登校となった。保護者の 意向を十分にくみ取る必要がある。	継続	○	学校教育の充実	学校教育課
39	【ひと】若い世代の出産・子育て の希望をかなえる 【KPI】合計特殊出生率 :現状値の維持(1.98)	(3)すべての子どもの育ちの 支援 【KPI】不登校生徒在籍率 (中学生)	特別支援教育の推進(特別 支援教育支援員の設置)	特別な支援を必要とする児童生 徒の支援を行い、不登校を防ぐ。	発達課題や特性のある児童生徒への適 切な指導や支援を行い、不適応を未然 に防ぐ。	発達課題や特性により、学校不適 応を起こす児童生徒をより少なく する。	各学校に特別支援教育支 援員を配置し、必要な支援 を行うことができた。	達成	特別な支援を必要とする児童生徒数が増えつつあり、十分な支援 がいきわたらない懸念がある。	継続	○	学校教育の充実	学校教育課
40	【ひと】若い世代の出産・子育て の希望をかなえる 【KPI】合計特殊出生率 :現状値の維持(1.98)	(3)すべての子どもの育ちの 支援 【KPI】不登校生徒在籍率 (中学生)	不適応児童・生徒の支援 【スクールソーシャルワ ーカーの設置】	児童生徒の行き滞りが見られた 段階で、スクールソーシャル ワーカーが介入し、不登校・不適 応児童生徒に対して支援を行 う。	家庭的要因による不登校児童生徒の減 少が期待される。	家庭的要因による不登校児童生 徒の減少	家庭的要因による不登校 生徒の数は昨年度と比 較し13人減少した。	達成	市スクールソーシャルワーカーが昨年度より多くの不登校・不適 応生徒の対応を行った。環境調整をすることで、不登校になる前に安 心して過ごせる居場所につなぐことができたのが要因である。	継続	○	学校教育の充実	学校教育課
41	【ひと】若い世代の出産・子育て の希望をかなえる 【KPI】合計特殊出生率 :現状値の維持(1.98)	(3)すべての子どもの育ちの 支援 【KPI】不登校生徒在籍率 (中学生)	子どもへの学習支援及び 保護者も含めた生活習慣・ 育成環境の改善に関する 支援の実施	家庭教育支援員による保護者、 家庭への支援を充実させる。	家庭教育支援員が保護者の相談を行 い、適切な子育てができるようにする。	家庭的要因による不登校生徒の 減少	家庭教育支援員を1名配 置し、保護者の支援を行う ことができた。	達成	支援を要する保護者や児童生徒数が多く、支援員のさらなる増員 により支援が一層充実すると考えるが、支援員は専門性が必要で あり、その人材確保が難しい。	継続	○	学校教育の充実	学校教育課
42	【しごと】立地条件を活かし、安 心して働ける産業雇用体制をつ くる 【KPI】事業所立地数 :現状数の維持(2,838件)	(3)すべての子どもの育ちの 支援 【KPI】不登校生徒在籍率 (中学生)	公共施設を活用した民間 事業者によるホースセラ ピー事業の展開(再掲)	継続して民間事業者と連携して 事業を実施する。 (広報大使やふさと納税を活用 したPR等)	馬を活用した民間事業者による放課後 等デイサービス・児童発達支援事業を 通じて、利用者が馬を身近に感じるこ とで、「馬のまち」としての愛着や誇り を高める。	ホースセラピー事業の継続 【放課後等デイサービス】 契約者数230人 総利用件数7,400件 【発達児童支援】 契約者数70人 総利用件数2,400件	ホースセラピー事業の継 続 【放課後等デイサービス】 契約者数248人 総利用件数5,986件 【児童発達支援】 契約者数82人 総利用件数1,317件	未達成	放課後等デイサービス開所当時に小学生として利用開始された人 が、R6年度末に一斉に高校卒業等で利用終了時期を迎えました が、運営事業者において空いた利用枠に対し新規契約を獲得され ました。その結果契約者数が増え、契約者数は目標達成となりました。 未達成となった利用件数については、出席率アップのため、webシ ステムを活用してキャンセル待ちの方のアサインをより迅速に行っ ていく方法を検討されています。また、児童発達支援では、周辺市 町へのサービスPRで認知度を向上させ、比較的空きのある平日日 中の利用件数アップの施策を継続検討されています。	継続		馬を活かしたまちづくりの推進	(旧)広報課 (現)シティプロモ ーション推進課
43	【ひと】若い世代の出産・子育て の希望をかなえる 【KPI】合計特殊出生率 :現状値の維持(1.98)	(3)すべての子どもの育ちの 支援 【KPI】不登校生徒在籍率 (中学生)	福祉や教育分野における 馬の活用検討	保育の中で、馬をテーマにどの ような取り組みができるのか、 各園と情報交換を行う。	保育を通して、子どもや保護者にも馬 のまちという市の魅力や良さを感じて もらう。	公立・私立園の5歳児を対象に、2 0か園で実施する。	公立・私立園の5歳児を対 象に、20か園で実施する。	達成	公立私立すべての園の協力を得て、取り組みを実施することがで きた。馬に親しむというテーマについて、園児・保護者に魅力や良 さを感じていただくための取組み内容をさらに進化させていくた めに、各園の意見等を聞いて検討していく必要がある。	完了(終了)		馬を活かしたまちづくりの推進	幼児課
44	【ひと】若い世代の出産・子育て の希望をかなえる 【KPI】合計特殊出生率 :現状値の維持(1.98)	(3)すべての子どもの育ちの 支援 【KPI】不登校生徒在籍率 (中学生)	生活困窮世帯の自立に向 けた子どもの学習支援や 居場所づくり	制度周知のため、学校等への制 度説明を実施し、各関係機関と 連携を図っていきます。	学習や相談を通じて、子どもたちが人 との関わりのおかげで、温かさや優しさ を感じられる、安心した居場所となりま す。	学習支援とともに、居場所づくり としての支援を実施します。 学習会の実施(2か所) 参加人数:18人 居場所への参加:15人	学習会の開催場所(2か 所) 参加人数 23名	達成	市内2か所において、中学生・高校生で支援の必要な子どもたちの 学習支援とともに、居場所づくりや生活習慣や育成環境の相談支 援にも取り組みました。制度の周知のため関係機関や組織、関係者 がさらに連携をして取り組む必要があります。	継続	○	地域福祉の推進	社会福祉課
45	【しごと】立地条件を活かし、安 心して働ける産業雇用体制をつ くる 【KPI】事業所立地数 :現状数の維持(2,838件)	(1)就労の支援とまちに活 力をもたらす産業の創出 【KPI】就業者数	ワーク・ライフ・バランスの 実現【働き方改革や多様な 働き方への理解を進める とともに、女性活躍を推 進】	ワーク・ライフ・バランス(働き方 改革や多様な働き方への理解を 進める)の実現に向けたセミナー の開催、女性活躍セミナー開催 を実施する。	男女が共同して家事、育児、介護等 を行う意識啓発と併せ、女性活躍セ ミナーを開催したり、育児や子育て等 に関する情報発信を行うことで、男女共 同参画意識が醸成され働きやすくなり誰 もが自分らしく生きることができる社 会へつなげていく。	ワーク・ライフ・バランスの実現に 向けた女性活躍支援セミナーの開 催(2回)、女性活躍推進セミナ 開催(1回) 地域女性活躍推進交付金を活用 しながら、女性活躍支援にむけた 取り組みを行う。	9/30・11/13…女性活躍 支援(家庭性教育)に関す るセミナーを2回実施。 2/12…女性活躍支援(お こづかいの役割)に関する セミナーを1回実施。 10/30…女性活躍推進 (キャリア構築)をテーマに したハイブリッド形式のセ ミナーを1回実施。	達成	セミナーの開催により、女性活躍・支援に関する学習機会が提供で きた。引き続き、市民の関心があるニーズの把握に努め、誰もが活 躍できる環境づくりを進める必要がある。	継続	○	男女共同参画の推進	自治振興課
46	【しごと】立地条件を活かし、安 心して働ける産業雇用体制をつ くる 【KPI】事業所立地数 :現状数の維持(2,838件)	(1)就労の支援とまちに活 力をもたらす産業の創出 【KPI】就業者数	ワーク・ライフ・バランスの 実現【働き方改革や多様な 働き方への理解を進める とともに、女性活躍を推 進】	継続して周知を行う	働き方改革への理解が推進され、生活 の充実と仕事の効率の関係性に好循環 が構築される。	啓発パンフレット等の配布事業者 数 414者	働き方改革における啓発 チラシの配布事業者数 4 09者	達成	企業訪問時や郵送にて事業所へ情報提供を行った。次年度は育児・ 介護休業法改正に伴って、育児休業等の両立支援制度について周 知をしていく。	継続		男女共同参画の推進	商工観光労政課
47	【しごと】立地条件を活かし、安 心して働ける産業雇用体制をつ くる 【KPI】事業所立地数 :現状数の維持(2,838件)	(1)就労の支援とまちに活 力をもたらす産業の創出 【KPI】就業者数	トップセールスの展開と企 業の立地促進	地区計画制度を活用した工業団 地の整備に向けて引き続き地域 と連携したまちづくり支援を行 う。	企業立地推進計画に基づき、新たな企 業の進出や既存市内企業の拡張等に 対応することで、企業立地と雇用を拡大 する。	地区計画の申出 … 1件	申出件数:0件	未達成	地区計画案の申し出にあたっての条件整理等に時間を要しており、 地区計画案の申し出に至らなかった。今後、円滑に手続きが進 むよう支援を行っていく。	継続	○	産業拠点の形成と企業立地の促進	企業立地推進課
48	【しごと】立地条件を活かし、安 心して働ける産業雇用体制をつ くる 【KPI】事業所立地数 :現状数の維持(2,838件)	(1)就労の支援とまちに活 力をもたらす産業の創出 【KPI】就業者数	東部地区等開発整備の促 進	工業用水道について市が行う整 備区間について立地余地企業と 調整を行う。	東部地区における新たな産業用地の整 備を促進し、企業立地と雇用を拡大す る。	東部地区新産業拠点における道 路整備(2工区詳細設計)及び工 業用水道施設の工事着手(野洲川 推進工)	東部地区の道路詳細設計 (東部六地蔵東西線2工 区)の実施及び工業用水道 施設の工事に着手した。	達成	道路整備については、引き続き用地買収を進め、工事を行って行く 必要がある。 工業用水道施設の整備については、工事が円滑に進むよう、地元 及び立地企業との調整を図る。	継続	○	産業拠点の形成と企業立地の促進	企業立地推進課

	①基本目標及び数値目標 (KPI)	②計画期間中に取り組み 施策及び重要業績評価指 標(KPI)	③令和6年度に実施予 定の特徴ある取り組み	③-(2)令和5年度の課題に 対する改善方策	④令和6年度の取り組みにより、 KPI達成に向けてどのような効果が あるか	⑤令和6年度の目標(到達点・ 活動指標)	⑥年度末実績 (実施した内容、目標に 対する実績値)	⑦目標達 成状況	⑧実績に対する評価(目標達成要因、未達成要因、次年度以降 に向けた課題)	⑨取組の方向性	⑩第3期総合戦 略実行計画(令和 7年度版)での 取組の有無	⑩第六次総合計画の施策との関連	⑪担当課
	【しごと】立地条件を活かし、安心して働ける産業雇用体制をつくる 【KPI】事業所立地数 ：現状数の維持(2,838件)	(1)就労の支援とまちに活力をもたらす産業の創出 【KPI】就業者数	公共施設を活用した民間事業者によるホースセラピー事業の展開【再掲】	継続して民間事業者と連携して事業を実施する。 (広報大使やふるさと納税を活用したPR等)	馬を活用した民間事業者による放課後等デイサービス・児童発達支援事業を通じて、利用者が馬を身近に感じることで、「馬のまち」としての愛着や誇りを高める。	ホースセラピー事業の継続 【放課後等デイサービス】 契約者数230人 総利用件数7,400件 【発達児童支援】 契約者数70人 総利用件数2,400件	ホースセラピー事業の継続 【放課後等デイサービス】 契約者数248人 総利用件数5,986件 【児童発達支援】 契約者数82人 総利用件数1,317件	未達成	放課後等デイサービス開所当時に小学生として利用開始された人が、R6年度末に一齐に高校卒業等で利用終了時期を迎えましたが、運営事業者において空いた利用枠に対し新規契約を獲得されました。その結果契約者数が増え、契約者数は目標達成となりました。 未達成となった利用件数については、出席率アップのため、webシステムを活用してキャンセル待ちの方のアサインをより迅速に行っていく方法を検討されています。また、児童発達支援では、周辺市町へのサービスPRで認知度を向上させ、比較的空きのある平日日中の利用件数アップの施策を継続検討されています。	継続		馬を活かしたまちづくりの推進	(旧)広報課 (現)ディプロメーション推進課
	【しごと】立地条件を活かし、安心して働ける産業雇用体制をつくる 【KPI】事業所立地数 ：現状数の維持(2,838件)	(1)就労の支援とまちに活力をもたらす産業の創出 【KPI】就業者数	栗東市中小企業・小規模事業者応援ガイドブック(栗東市中小企業・小規模事業者応援ガイドブックの作成配布)	別事業で作成する冊子に集約し、継続して周知を行う	働き手の確保に苦慮されている市内企業の良さや魅力を発信していくことで、市内企業の人材を確保を図ることができる。	栗東市中小企業・小規模事業者応援ガイドブック 冊子記載事業者：50者	栗東市中小企業・小規模事業者応援ガイドブック 冊子記載事業者：46者	未達成	市内事業者の紹介や事業経営者を支援するための国・県・市・商工会等の各種制度情報も掲載し、市ホームページにて広く周知を図った。	継続		就労支援	商工観光労政課
	【しごと】立地条件を活かし、安心して働ける産業雇用体制をつくる 【KPI】事業所立地数 ：現状数の維持(2,838件)	(1)就労の支援とまちに活力をもたらす産業の創出 【KPI】就業者数	中小企業・小規模事業者の生産性向上支援(中小企業者等の先端設備投資への支援)	関係機関等と連携してさらなる周知を行う	先端設備等の投資への支援を継続し、市内中小企業者等の労働生産性の向上を図る	認定件数20件	認定件数10件	未達成	変化していく事業環境に対応するため、新事業・新分野に挑戦される企業を引き続き支援し、市内中小企業者等の生産性向上を図っていく。	継続	○	中小企業・小規模事業者の振興	商工観光労政課
	【しごと】立地条件を活かし、安心して働ける産業雇用体制をつくる 【KPI】事業所立地数 ：現状数の維持(2,838件)	(2)中小企業・小規模事業者の経営基盤の強化と消費者ニーズの創出 【KPI】市内事業所の総売上額	関係機関等の連携によるサポート体制と相談体制による支援(りっとう経営なんでも相談会の実施)	関係機関等と連携してさらなる周知を行う	関係機関と連携し事業承継や販売戦略など、経営上のあらゆる悩み事に相談できる体制を構築することで、市内中小企業者のビジネスチャンスの拡大を図る	相談件数24件	相談件数20件	未達成	事業継承や販売戦略、創業といった幅広い相談に応じ、相談ケースによって外部の関係機関と連携して解決策の提案に取り組んだ。相談会が課題解決の第一歩ともなりえるため、継続して取り組んでいく。	継続	○	中小企業・小規模事業者の振興	商工観光労政課
	【しごと】立地条件を活かし、安心して働ける産業雇用体制をつくる 【KPI】事業所立地数 ：現状数の維持(2,838件)	(2)中小企業・小規模事業者の経営基盤の強化と消費者ニーズの創出 【KPI】市内事業所の総売上額	経営基盤の強化と資金の支援(信用保証料助成制度の実施)	関係金融機関等と連携してさらなる周知を行う	中小企業等が金融機関から融資を受ける場合の信用保証料を一部を助成することで、中小企業等の負担を軽減し、経営基盤の強化を図る	助成件数26件	助成件数11件	未達成	信用保証料助成は、経営合理化を図るための資金や不況時の経営安定の資金、開業時の資金の助成など様々な状況に応じた支援となっており、県制度とともに継続して中小企業者等の経営の安定と活性化を支援していく。	継続		中小企業・小規模事業者の振興	商工観光労政課
	【しごと】立地条件を活かし、安心して働ける産業雇用体制をつくる 【KPI】事業所立地数 ：現状数の維持(2,838件)	(2)中小企業・小規模事業者の経営基盤の強化と消費者ニーズの創出 【KPI】市内事業所の総売上額	創業活動への支援(創業支援融資利子補給金制度の実施)	関係金融機関等と連携してさらなる周知を行う	市内で創業する事業者が受けた融資の利子の一部を補給し、事業者の負担の軽減と経営の安定を図る	補給件数21件	補給件数24件	達成	創業支援融資利子補給金制度は㈱日本政策金融公庫の融資制度を利用された新規開業者の支払い利子の一部を補助するものであるが、その対象者については㈱日本政策金融公庫とも情報共有を図り、漏れない支援を継続していく。	継続		中小企業・小規模事業者の振興	商工観光労政課
	【しごと】立地条件を活かし、安心して働ける産業雇用体制をつくる 【KPI】事業所立地数 ：現状数の維持(2,838件)	(2)中小企業・小規模事業者の経営基盤の強化と消費者ニーズの創出 【KPI】消費生活における市内での購買割合	個店の魅力向上(りっとうバル事業の実施)	商工会と連携して開催する必要がある	地域や商業の活性化につながるまちのにぎわいを生み出すため、個店の魅力を向上させ、顧客獲得につながる取り組みを行う。	バル参加店数78店	バル参加店数95店	達成	りっとうバルの実施によって市内店舗の活性化、新規顧客の獲得の機会を創出した。今後も魅力あるりっとうバルを継続していくため、スタンプラリーの他、新たな実施形態についても検討していく必要がある。	継続	○	中小企業・小規模事業者の振興	商工観光労政課
	【しごと】立地条件を活かし、安心して働ける産業雇用体制をつくる 【KPI】事業所立地数 ：現状数の維持(2,838件)	(2)中小企業・小規模事業者の経営基盤の強化と消費者ニーズの創出 【KPI】消費生活における市内での購買割合	空き店舗等対策の拡充(空き店舗等活用促進事業補助金制度の実施)	実態調査の結果を踏まえて、制度内容の見直しを検討する	栗東市内の駅周辺の賑わい創出と地域経済活性化に向けて、指定区域内における空き店舗等の減少及び商環境の向上を図る	補助件数5件	補助件数5件	達成	空き店舗等活用促進事業補助金については駅周辺地域の新規出店者の店舗改装費や広告宣伝費等について一部補助の支援を図った。来年度より補助対象指定区域を拡大し、商環境のさらなる賑わいを創出する。	継続	○	中小企業・小規模事業者の振興	商工観光労政課
	【しごと】立地条件を活かし、安心して働ける産業雇用体制をつくる 【KPI】事業所立地数 ：現状数の維持(2,838件)	(2)中小企業・小規模事業者の経営基盤の強化と消費者ニーズの創出 【KPI】消費生活における市内での購買割合	地域経済の再活性化に向けたさらなる支援(りっとうプレミアム付商品券2024への支援)	利用者と取扱店舗へのアンケート調査結果を踏まえて、事業内容に反映していく	物価高騰等による影響から、元気な地域経済を取り戻すことを目指して、栗東市商工会とともにプレミアム付商品券を発行	商品券取扱店舗300店	商品券取扱店舗322店	達成	商品券事業は物価高騰時等の消費の減少に対して、消費行動の喚起や市内店舗の活性化に一定の効果が認められる。実施方法についてもデジタルクーポンや電子マネー等、全国で様々な方法で行われており、より利用しやすいものを検討していく必要がある。	継続		地域経済の振興	商工観光労政課
	【しごと】立地条件を活かし、安心して働ける産業雇用体制をつくる 【KPI】事業所立地数 ：現状数の維持(2,838件)	(3)農林業の振興支援による活性化の推進 【KPI】農地集積率(累計)	集落営農組織の法人化と認定農業者への支援(営農規模の拡大や農産物の増産による生産の効率化及び販路拡大促進)	今年度の認定が切れる農業者を中心に、継続申請を促す。	集落営農組織の法人化と認定農業者への支援は農業の活性化に繋がり、農地集積率の向上に繋がる。	集落営農組織の法人化数 認定農業者の計画認定数	集落営農組織の法人化数 0経営体 認定農業者の計画認定数 8経営体	達成	集落営農組織の法人化は進んでいないが、認定農業者の計画認定数については、新規及び継続で8経営体に認定することができた。	継続	○	農林業の振興	農林課
	【しごと】立地条件を活かし、安心して働ける産業雇用体制をつくる 【KPI】事業所立地数 ：現状数の維持(2,838件)	(3)農林業の振興支援による活性化の推進 【KPI】農地集積率(累計)	認定農業者等の農業の担い手に向けた支援強化(農業機械・施設園芸の整備に係る補助事業の拡大)	R7予算枠に認定農業者向け補助の予算計上が図られるよう周知啓発を推進する。	認定農業者向けの支援は、農業の活性化に繋がり、農地集積率の向上に繋がる。	認定農業者向け機械補助のR7予算計上経営体数 2経営体	認定農業者向け機械補助のR7予算計上経営体数 2経営体	達成	目標通り認定農業者である2経営体に対して機械補助のR7予算措置をすることができた。	継続		農林業の振興	農林課
	【しごと】立地条件を活かし、安心して働ける産業雇用体制をつくる 【KPI】事業所立地数 ：現状数の維持(2,838件)	(3)農林業の振興支援による活性化の推進 【KPI】市内事業所の総売上額	6次産業化の推進	関係機関主催の研修会等に積極的に参加して見聞を広め、生産者の経営安定化や担い手確保へ繋げる。	研修による事業への意欲や知識等が向上することにより、農業振興の向上に繋がる。	栗東市農業振興会を通じ6次産業化の研修や研究を実施する。	栗東市農業振興会において6次産業化の研修会を実施することができなかった。	未達成	次年度以降、6次産業化の研修や研究を実施していけるように内容について事務局で検討していくことが課題である。	継続		農林業の振興	農林課
	【しごと】立地条件を活かし、安心して働ける産業雇用体制をつくる 【KPI】事業所立地数 ：現状数の維持(2,838件)	(3)農林業の振興支援による活性化の推進 【KPI】農地集積率(累計)	土地改良事業の推進(ほ場整備、用排水路の整備)	土地改良事業の推進に向け、事業主体者である県とほ場整備事業の事業工程の達成に向けて取り組む。	ほ場整備事業、用排水路のハード面の整備等により、農業生産の効率性の向上が期待できる。	ほ場整備事業の事業主体者である県と連携し、予定されている事業工程を達成する。	①第5工区 整備面積:1.5ha ②用水路工:L=530.9m ③排水路工:L=318.5m	達成	令和6年度に実施した「六地蔵地区ほ場整備事業第5工区」については、予定どおり完了した。今年度予定の「第6工区」についても進捗に遅れが生じないよう、事業主体の県や六地蔵土地改良区と連携して事業を進めていく。	継続		農林業の振興	農林課
	【しごと】立地条件を活かし、安心して働ける産業雇用体制をつくる 【KPI】事業所立地数 ：現状数の維持(2,838件)	(3)農林業の振興支援による活性化の推進 【KPI】就業者数	新たな森林管理システムを活用した森林整備の推進(森林境界の明確化、林地台帳整備等)	森林整備の実施に向け、計画通りに森林所有者意向調査、境界明確化事業、林地台帳整備を進めていく。	森林管理システム構築により、効率的な管理方法が可能となる。	予定地域における森林所有者意向調査、境界明確化事業を実施する。	予定していた東坂地区(10.5ha)の境界明確化事業に遅れが生じ、繰越とした。	未達成	令和6年度に実施予定であった東坂地区の境界明確化事業を繰越しているため、令和7年度に完了する。また、令和7年度に予定している森林所有者意向調査及び境界明確化事業について、遅れが生じないよう年度内完了に向け進めていく。	継続		農林業の振興	農林課
	【しごと】立地条件を活かし、安心して働ける産業雇用体制をつくる 【KPI】事業所立地数 ：現状数の維持(2,838件)	(3)農林業の振興支援による活性化の推進 【KPI】就業者数	こんぜの里周辺施設の公共施設マネジメントの推進	指定管理施設の方向性の決定に向け、各調査および条件整理を実施する。	こんぜの里周辺施設の施設運営のあり方検討に取り組み、地元就業者数等の向上に繋げていく。	各ニーズ調査および条件整理を実施し、施設の方向性の判断材料としていく。	地権者、地域団体へのヒアリング調査及び市民ニーズ調査の実施	達成	残存(継続)する課題に取組み、こんぜの里周辺施設の方向性を示していく。	継続		農林業の振興	農林課
	【しごと】立地条件を活かし、安心して働ける産業雇用体制をつくる 【KPI】事業所立地数 ：現状数の維持(2,838件)	(3)農林業の振興支援による活性化の推進 【KPI】就業者数	市民参加による野菜教室の開催(種まきから販売までの体験)	教室開催日を休日等に変更することは、現時点において困難であるため、特になし	気軽に農業に触れ、農業への関心が高まることにより、農業就業者数の増加に繋がる。	野菜教室への参加人数 15人	野菜教室への参加人数 12人	未達成	市広報やホームページにより参加者の募集を行ったが、次年度以降は、市公式LINEによる募集等の他の募集方法を取り入れていくことを検討する。	継続		農林業の振興	農林課
	【しごと】立地条件を活かし、安心して働ける産業雇用体制をつくる 【KPI】事業所立地数 ：現状数の維持(2,838件)	(3)農林業の振興支援による活性化の推進 【KPI】就業者数	社会基盤となる道路ネットワークの整備促進(林道の待避所設計の実施)【再掲】	特になし	林業施策のための林道の安全確保に繋がり、新規林業就業者の増加が見込める。	金勝林道待避所(5箇所)の工事完了	金勝林道待避所(5箇所)の工事完了	達成	金勝林道待避所(5箇所)の工事について、予定どおり完了した。	完了(終了)		農林業の振興	農林課